

令和3年度(2021年度) 学校評価(自己評価・学校関係者評価)

北海道函館西高等学校

今年度の学校としての取組について、どの程度達成されているのか、4段階で評価してください。
4：大変満足 3：おおよそ満足 2：やや不十分 1：不十分

分掌・年次	重点課題	実践内容	自己評価	ご意見	学校関係者評価
総務部	○本校の教育活動を地域を含め広く発信するために、広報活動の一層の充実努める。	・学校だよりの発行 ・ホームページの保守管理・充実 ・新聞等への取材依頼	3.2	・コロナの時代で広報活動の大変な中、充実を感じる。	3.2
	○保護者との連携を密にし、PTA行事の活性化に努める。	・保護者と学校との連絡調整	3.3	・コロナで厳しい状況だと思う。 ・PTA会報を見て良好な関係を感じる。	3.2
	○学校保健計画に即した健康と安全に対しての指導を適切に行う。	・薬物乱用防止教室、性教育講演会の企画運営 ・特別支援委員会業務 ・校内研修会(防災、救急)の企画	3.4		3.2
教務部	○授業の指導方針の明確化・共通化を図り、生徒が主体的に学習に取り組む態度の涵養を図る。	・校内研修、授業参観の実施	3		3.2
	○評価方法についての研修を充実させ、適切な評価の方法と生徒の次の学びにつながる評価の伝え方を検討する。	・学習成績の評価・評定	3.1		3.2
	○探究型単位制の教育課程の研究と実践を進める。	・教育課程の作成と研究・実施	3.1	・学校案内を見て頑張っている姿を見た。	3.2
生徒指導部	○基本的生活習慣の確立を図る。	・年次との連携	2.9		3.2
	○生徒の主体的な活動を支援する。	・生徒会行事の企画、運営、渉外、調整	3.2	・生徒会誌を見て生徒の楽しさが伝わった。	3.4
	○安心・安全の確保の充実を図る。	・いじめアンケート、ネットパトロールの実施	3.1		3.2
進路指導部	○探究活動との連携と進路指導実践の充実を図る。	・探究活動の成果を生かす進路指導計画・実施	3.1	・進路実現は国公立進学で見られている。一般入試で入れるレベルはどうなっているか。	3.2
	○進学講習等の計画的、組織的実践に努める。	・Classi等の進路支援ツールの活用	3	・生徒の意識がどこまで高まっているのか関心がある。	3.2
探究部	○探究的活動を通して、自己有用感と自己指導能力(自己調整力)を育成する。	・総合的な探究の時間の企画・ガイダンス・運営・評価	3.1	・すばらしい実践だととらえている。 ・新しい西高の目玉の探究。期待している。	3.2
	○先進的な事例等の情報の収集と、研修の充実を図る。	・中学校訪問や学校視察訪問	3	・生徒の反応、感想が知りたい。	3.2
1年次	○学校生活・学習に意欲的でまとまりのある生徒集団の育成	・教育課程に関すること	3.2	・1年生にカリキュラムを教えることができればよい。	3.2
	○自己理解と適切な進路目標の設定	・講習、模試に関すること ・進路指導部との連携	3.2	・具体的な進路実現をどこまで設定できるかである。	3.2
2年次	○授業・総合的な探究の時間等を充実させ、生徒の自主的な活動の支援	・教育課程に関すること	3.2	・カリキュラムを教えることができればよい。	3.2
	○自己理解と適切な進路目標の設定	・講習、模試に関すること ・進路指導部との連携	3.1	・具体的な進路実現をどこまで設定できるかである。	3.2
3年次	○学校生活の中で充実感を求めるとともに、自ら行動して問題解決できる生徒の育成	・生徒会行事に関すること	3.1	・楽しい西高の思い出があるのはすばらしい。	3.4
	○個々に応じた進路実現	・講習、模試に関すること ・進路指導部との連携	3.2	・理想の進路と実の進路はどこがちがうのかを考えさせてほしい。	3.2

・コロナ禍において可能な限り生徒の自主性を引き出す体験、学習に取り組む教員・管理者の姿勢に頭が下がる。西高という範囲の話ではないが、教員がのびやかに教職を全うしている姿が生徒に伝わると考えると、現在の教員の皆さんの仕事量は多すぎると考える。